

宮島重信さん死亡



発行所
三池炭鉱労仍組合
大牟田市不知火町2
電話 ③3033番
③3034番
編集兼
発行人 山下 開
半年間600円 送料共

特集

このたび、CO中毒患者の一人、宮島重信さんが逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。
本紙は本号で、宮島さんの死を悼みながら、その死を契機にまき起こりました諸行動について特集致しました。そのために、ほかの貴重な部分を割愛せざるを得なかったことを、お許しくださるようお願い致します。

★★★★

宮島さん
あえかに燃えついていた

宮島重信さん

弔 詩

高 棕 竜 生

あなたの命のともしびはついに消えた
いや

あなたは、きりと殺されたのです
合理化の重石を背負われ

「オレヲロスナ」
「ななまを返せ」

と絶叫しつつながら
三井鉱山になり殺されたのです

でも
あなたは

死ぬにも死に切れず
悶え苦しみがら生きている

わたしたちの心のなかに生きているのです
ミイラのように腐りかけた

化物の目をカッと見開き
三井の虐殺鬼をにらみつけているのです

骨のとび出した
おのがむくろを血膿につつま

亀の甲羅と硬はった皮の破れ目から
とめどなき怨念の血を噴き出しながら

生きているのです
ただ生きて

屍さらすにはあらず
保安サボてみ

あかしに生きる
そうです

ものいわぬあなたは十年二月
会社の保安サボと責任追及を呼びつづけ

いま
裁きの庭で証人台に立っているのです

宮島さん
あなたは植物人間にされ

生み殺しの拷問にかけられながら
無念の歯をくいしばり

地獄のなかで生きつづけ
COの闘いの先頭に赤旗を力強くうち振る

あなたの姿が
いま
ありありと見えてくるのです

三池炭鉱の歴史が
人殺しの歴史であることをあはくため
なまことともにスクラムを組んでいるのです

あなたは輝かしい
「みいけ」の職場分会長です
その赤旗に

あなたの血潮ががきりなく音を立ててたぎって
いる

宮島さん
ここに
おとうさん おかあさんも
きようだいも
なかも
全国のなままたちもいっばいいます
あなたの元氣な声を聞くとして
集まっているのです

宮島さん
いま あなたのはらわたをしぼるたしかな声が
はつきり聞えて来ます
三池労組万才
三池主婦会万才
全国のなままたち万才と

宮島さん
あなたと
立ちこむるガスのなかで
キャップランプのあかりがすすんで行く
どこからか すすり泣きの声が興り
おしよせるうしろのようじ
「石炭(スミ)掘る仲間」の歌声が近づいてく
る
宮島さん
宮島さん
組合葬の際に、故人に捧げられた時。
一九七四年一月十三日